

平成29年度県共同募金会配分結果・決算報告

配分結果の報告

平成29年10月から平成30年3月まで実施しました共同募金運動に、県民の皆さまから、11億158万円を超えるご寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

平成29年度は、県内580の社会福祉施設・団体から配分申請が寄せられ、公正な配分を実施するため、県共同募金会「配分委員会」の委員が申請施設を現地調査するなど、慎重に査定案を策定いたしました。

同委員会でも承認されました配分案は、さらに平成30年3月に開催しました県共同募金会の理事会・評議員会で最終審査が行われ、下記のとおり共同募金の使途が決定しましたことをご報告いたします。

共同募金運動にご協力いただきました皆さまに、県共同募金会の事業を引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



平成29年度共同募金・使途概要

▽地域福祉を推進する市区町村社会福祉協議会の活動を支援するために (58団体)	270,298,842円
▽法定社会福祉施設を利用する児童・障がい児者・高齢者を支援するために (159施設)	216,269,838円
▽青少年・障がい者・高齢者・難病当事者・女性保護団体等の活動を支援するために (95団体)	85,303,346円
▽在宅福祉サービスを推進する非営利型福祉団体の活動を支援するために (198団体)	39,730,000円
▽年末たすけあい募金として募集し、市区町村ごとに行う援護や事業のために (58団体)	373,854,564円
▽国内大規模災害時の被災者支援のための災害準備金繰入額として	16,523,000円
▽県内の火災・風水害被害者への見舞金、民間社会福祉施設の風水害等による復旧工事等のための緊急資金として	5,000,000円
▽市区町村ごとに共同募金運動を展開するための募金資材の作成等に	58,450,000円
▽全戸配布用広報資料の作製や小中学生福祉作文コンクールの開催事業等に	83,276,860円
▽公の制度では取り上げられない開拓的・実験的・啓発的な事業を推進する社会福祉団体の活動費に	2,000,000円
合計	1,150,706,450円

※上記使途財源には、前年度繰越金等を含みます

一般会計 各サービス区分収支一覧表

社会福祉法人神奈川県共同募金会

自：平成29年4月1日～至：平成30年3月31日

(単位：円)

内 訳	サービス区分名	本 部	寄付金	災害準備金	災害義援金	たすけあい福祉資金	受配者指定寄付金	合 計
<事業活動による収支>								
1	収入総額	242,706	1,119,937,291	0	306,404	1,209,472	29,348,638	1,151,044,511
2	支出総額	144,382,273	987,456,590	0	306,404	20,220,036	28,503,161	1,180,868,464
3	事業活動資金収支差額(1-2)	△144,139,567	132,480,701	0	0	△19,010,564	845,477	△29,823,953
<その他の活動による収支>								
収入	サービス区分間繰入金収入	146,816,860	17,522,000	33,046,000	0	5,000,000	0	202,384,860
	積立金取崩額	160,000	0	0	0	30,000,000	0	30,160,000
4	その他の活動収入計	146,976,860	17,522,000	33,046,000	0	35,000,000	0	232,544,860
支出	サービス区分間繰入金支出	0	163,139,860	17,522,000	0	16,723,000	5,000,000	202,384,860
	積立金積立額	3,545,000	0	0	0	0	0	3,545,000
5	その他の活動支出計	3,545,000	163,139,860	17,522,000	0	16,723,000	5,000,000	205,929,860
6	その他の活動資金収支差額(4-5)	143,431,860	△145,617,860	15,524,000	0	18,277,000	△5,000,000	26,615,000
7	当期資金収支差額合計(3+6)	△707,707	△13,137,159	15,524,000	0	△733,564	△4,154,523	△3,208,953
8	前期末支払資金残高	6,623,431	160,627,532	119,653,000	0	5,877,548	14,521,538	307,303,049
9	当期末支払資金残高(7+8)	5,915,724	147,490,373	135,177,000	0	5,143,984	10,367,015	304,094,096

貸借対照表

社会福祉法人神奈川県共同募金会

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	資産の部			科 目	負債の部		
	平成29年度	平成28年度	増 減		平成29年度	平成28年度	増 減
流動資産	1,127,992,291	1,120,766,042	7,226,249	流動負債	962,395,195	936,428,993	25,966,202
預貯金	1,127,517,289	1,120,665,908	6,851,381	事業未払金	13,702,165	7,100,529	6,601,636
有価証券	34,000	3,000	31,000	開拓啓発事業資金	4,770,100	12,770,100	△8,000,000
事業未収金	441,002	97,134	343,868	未交付配分金	804,090,351	792,679,688	11,410,663
				預り金	121,885	125,333	△3,448
固定資産	347,562,609	374,763,948	△27,201,339	職員預り金	1,213,694	787,343	426,351
基本財産	9,300,000	9,300,000	0	賞与引当金	3,320,000	3,313,000	7,000
基本財産特定預金	9,300,000	9,300,000	0	災害準備金	135,177,000	119,653,000	15,524,000
その他の固定資産	338,262,609	365,463,948	△27,201,339	固定負債	50,791,019	47,524,325	3,266,694
車両運搬具	1,995,975	1,995,975	0	退職給付引当金	50,791,019	47,524,325	3,266,694
器具及び備品	2,357,844	3,102,234	△744,390	負債の部合計	1,013,186,214	983,953,318	29,232,896
ソフトウェア	380,160	380,160	0	純資産の部			
投資有価証券	0	0	0	基本金	9,300,000	9,300,000	0
長期貸付金	2,000,000	2,000,000	0	その他の積立金	286,269,443	316,364,221	△30,094,778
退職給付引当資産	49,800,000	46,300,000	3,500,000	運営費積立金	47,000,000	47,000,000	0
運営費積立資産	47,000,000	47,000,000	0	支会経費積立金	2,320,000	2,435,000	△115,000
支会経費積立資産	2,320,000	2,435,000	△115,000	たすけあい福祉資金積立金	236,949,443	266,929,221	△29,979,778
たすけあい福祉資金積立資産	236,949,443	266,929,221	△29,979,778	次期繰越活動収支差額	166,799,243	185,912,451	△19,113,208
減価償却累計額	△4,540,813	△4,678,642	137,829	(うち当期活動増減差額)	△49,207,986	△2,279,157	△46,928,829
資産の部合計	1,475,554,900	1,495,529,990	△19,975,090	純資産の部合計	462,368,686	511,576,672	△49,207,986
				負債及び純資産の部合計	1,475,554,900	1,495,529,990	△19,975,090

◇神奈川県共同募金会 ☎045-312-0300 http://www.akihane-kanagawa.or.jp

収支決算の報告 県共同募金会平成29年度収支決算内容を、次の通り報告します。

福祉のうごき

2018年5月26日～6月25日

Movement of welfare

●やまゆり園からグループホームへ

2016年7月に事件があった津久井やまゆり園の入所者1人が31日、家庭での暮らしに近いグループホームでの生活を始めた。「地域生活移行」は、県が事件後に入所者の意向を確認する機会を設けてから初めて。

●相模原市、ひきこもり相談無料窓口開設

相模原市は、ひきこもり状態にある人や家族からの相談を受け付ける「ひきこもり支援ステーション」を開設した。臨床心理士や精神保健福祉士を配置し、無料で個別相談に応じる。

●75歳以上認知症運転恐れ5.7万人

免許更新時などで行われる認知機能検査にて「認知症の恐れがある」と判定された75歳以上のドライバーは全国で5万7000人(暫定値)だった。うち、約2万人が運転免許を自主返納したり、更新せず失効させたりした。警察庁が7日に発表。

●改正生活保護法など関連4法が成立

貧困家庭の子どもの進学支援を柱とする改正生活保護法が、1日の参院本会議で成立。生活困窮者自立支援法、社会福祉法、児童扶養手当法も一括して審議され、就労準備支援事業、家計改善支援事業の努力義務化等、生活困窮者への支援強化が図られた。

●障害者文化芸術活動推進法が成立

障害者アートを広めることを目指す「障害者文化芸術活動推進法」が7日、超党派の議員立法により衆院本会議で成立。障害者が制作する絵画などの作品は、海外を中心に創造性が評価されている。

将来親となる世代へ向けて

―第6回未来を担う若者会議開催

子どもの貧困が拡大し、また児童相談所の虐待相談件数が増加する中、子どもたちが十分な「教育機会」を得ることができないことが課題の1つとなっています。

第6回を数える「未来を担う若者会議」は6月23日に開催。主催の(特非)全国福祉未来ネットワーク理事長の原ありささんは「これから親となる若者に働きかけることで、未来の虐待防止と、自分や友人が困った時に解



決策を探れる人となることを目的としています」と言います。今回は、子どもの虐待や不十分な学習環境にある子どもたちの現状理解がテーマとなりました。

まず、(特非)さいたまユースサポートネット代表の青砥恭さんより「子どもたちの学習支援と居場所づくり」の基調講演があり、その後4つの分科会に分かれ意見交換が行われました。

取材のかたわらに参加した分科会Bでは、おひさまネットワーク代表の福本麻紀さんがファシリ

【分科会】

- A 学習と自立の支援「学習支援の目指す姿」
- B ソーシャルワーク「子どものあるがままを保障するコミュニティワークによる子どもの居場所づくり」
- C 居場所づくり「居場所づくりから始まる支援」
- D 学生による活動「ナナメの関係が可能にする支援」

(企画調整・情報提供担当)

テーターとなり、理想とする地域像を具体的にするための模擬行動計画作成を体験。グループで決めた「20代が子どもの居場所カフェを作る」という目標に向け、参加者である大学生や無料学習室のスタッフが中心となり計画を作り上げました。

開催目的のとおり、参加者も運営者も若者が中心となり自ら考える活発な会議となりました。

♥ともしび基金をつかった活動支援♥



子どもたちは、ボランティアから指導を受けながら、楽しそうに学習に取り組んでいました。

今回は、ともしび基金の助成金の1つである「多文化共生入ポットワールド・キッズ」(以下、キッズ)を紹介します。キッズは、横浜市磯子区で「外国につながる子どもたち」の学習支援を中心に、課外活動や交流会等を行っています。

「言葉や文化が異なる環境で自信が持てなくなり、学校でも消極的になってしまう子どもたちの力になりたい」という思いから会を立ちあげた王広子さん。「子どもたちがキッズを自分らしく安心して学べる場だと感じることに、学校生活を続ける自信や、将来への希望を持つ。そういうきっかけを作りたい。ありのままに居られる場所になるよう、これからも活動を続けていきたい」と抱負を語ってくださいました。

キッズの活動は多くの子どもたちを笑顔にしています。

※親が外国出身者で外国にルーツがある子ども

会では学習支援を行うボランティアを募集しています。詳細は代表連絡先まで
(wytoko@nornmail.com)

(地域福祉推進担当)

やさしさのおくりもの